

## ■主催者挨拶

桜井 正光 氏（日本の景観を良くする国民運動推進会議会長／社団法人 経済同友会代表幹事）

「日本の景観を良くする国民運動推進会議」会長の桜井です。本大会の主催者を代表いたしまして、一言ご挨拶を申し上げます。本日は皆さま、お忙しいところをご来席いただきまして、誠にありがとうございます。今回、基調講演をしていただきます林先生、そしてパネリストの皆さま、多くの方々のご臨席を賜りまして、本当にありがとうございます。本日は昨年を引き続きまして、多くの皆さまのご参加のもと、この全国大会が開催されましたことを大変喜ばしく思っております。



さて、当推進会議は景観に関するわが国初の総合的な法律であります景観法が、平成 17 年 6 月 1 日に施行されたことを受けて発足しました。地域住民、事業者、そして地方公共団体や国が一体となって、良好な景観づくりを継続的に国民運動として展開していくことを目的としております。一口に「良好な景観」と申しまして、いろいろなどらえ方があるかと思ひます。私は常々「景観」というときに、強く思うことは、景観とは、やはり人にやさしい、そして地球にやさしい、そして私たちの国民生活のためになる姿、これを景観と呼ぶのではなかろうかと思っております。皆さまもご承知のように、人にやさしいということは、私たちが安心を感じられる。そして、それが私たちにとって大変役に立つということを提供してくれる姿、それが人にやさしいということだと思ひます。

また近年、地球環境の保全の問題、特に今は気候変動、温暖化防止ということがかなり叫ばれておりますし、長期的には温暖化を防止・阻止しない限り、生態系や人間にも大変な影響があるということです。いかに温暖化を防止するかは、当然ながら地球そのもの、自然そのものを復活させることに尽きると思ひます。そういう意味で、地球にやさしいというのは、自然の姿を元に戻そうということです。私たちの生活の営みで、地球をいじりまわしてしまった結果が温暖化です。地球そのまま、自然そのままをまた復活させようということだと思ひます。そういう意味での地球にやさしい、人にやさしい、そして私たちの生活のためになる、あるいは安心感を与えるという姿というものを、私たち一人一人が全員参加で、身近なところから再現していくということが大事な活動だと、大変深く信じております。

そうした意味でも「日本の景観を良くする国民運動推進会議」という活動は大変重要なものです。引き続き、皆さまのご支援をいただきたく、心からお願い申し上げます。

本日は、都市景観大賞「美しいまちなみ賞」、美の里づくりコンクール、そして自然公園写真コンクール各賞の表彰も行われると聞いております。受賞者の皆さまには心からお祝いを申し上げますとともに、皆さまの活動が美しい景観づくりに向けた、国民的な運動の推進に繋がることを心から期待しております。

最後に、本日の全国大会が実り多いものになりますよう祈念いたしまして、私の挨拶に代えさせていただきます。どうもありがとうございました。